

北沢議員

空き家情報バンクについて

問 市内の空き家・空き地を有効に活用し、定住促進を図るために空き家情報バンクの情報を市民の方々から収集し物件について詳細に情報発信を行う。そのことにより、市内に居住され中心市街地の再生、人口減少対策に繋がるかいかがお考えか伺う。また、現在、勝山市内に何軒の空き家があるのか、今後いかに対応していくのか伺う。

答 空き家等の情報収集の場としては、県が実施している「ふくい空き家情報バンク」にリンクさせた「勝山市空き家情報バンク」を実施中であり、情報を広く収集・発信を出来るようになっていく。しかし、本事業の利用度はまだまだ低く、登録件数は2件にとどまっているため、業者への呼びかけ、広報・ホームページでの募集を続けていく。

空き家の状況については、現在、県と協力し実態調査を実施中である。市内には450件以上の空き家等があると見込まれているため、今後、県との情報交換を密にし、方策を探っていく。

小学校、中学校の統廃合について

問 勝山市の教育環境の整備を進めるため小中学校統廃合への取り組みについて、小学校から統廃合すると同じ子どもが小中学校で両方の統廃合を経験することから、まず中学校の統廃合を優先させる考えであるが、小中学校同時期の統廃合が出来ないのか伺う。また中学校統廃合について、1校にするのか2校にするのか結論を出す時期だと考えるかかか。

答 座談会等の意見を踏まえ、地域との結び付きが強い小学校の再編については、時間をかけ地域の意見・意向を最大限尊重しながら進めていくこととしたところであり、そして中学校の再編を先行させる考えに基づき、現在の取り組みとなっている。また中学校の再編形態の結論を出す時期については、これまで長い時間が経過していることから、今年度中には結論を得られるよう努力すべきところである。今後は、多くの方の意見をさらにしっかりと聴きながら進めていく。



門議員

農業施策について

問 鳥獣害の中のサルへの取り組みについて、これを徹底的に撲滅するか、いわゆるサルを見かけたならば鉄砲で脅して人里に近寄らないようにするしかないと思われる。市の取り組みをお聞きする。

答 サルの農作物被害対策については、まずは、サルだけが被害の原因となるのではなく、農家や農地の側にも原因があることを理解し、農地や住宅付近にサルの餌となるようなものを放置しないように、また農作物を周りから見えないようにするなど地域で取り組むことが大事であるため周知していく。またサルが現れた場合、ロケット花火等で威嚇し近寄ると痛い目にあうなど学習させることが必要で、次の段階で、サル用の防犯ネットなどを整備し農地に入れないように防御することになると考えている。

観光行政について

問 毎年恒例の行事や祭りごとを一つの計画表にまとめて、今年一年間の祭りや行事計画を配置したパンフ、あるいは暦を作成してはどうか。

その他の質問
・森林整備計画と路網整備計画について
・高齢者医療について

うか。左義長や年の市等、日時が決定しているものについては、年度初めにパンフレットを作成し、PRしてはどうか提案する。

答 左義長のポスター・チラシは例年12月上旬に作成しPRを行っている。今年も絵行燈の川柳を全国公募するため10月上旬には完成させる予定で作業を行っており、来年度以降は半年前から告知できるようにしていきたい。なお祭りや観光行事のパンフレットの策定については、市内観光施設・団体等で構成する「勝山市観光施設等連絡会」を4半期ごとに開催しており、それぞれの取り組み状況を共有すると共にホームページや商談会等の場で活用していく。



ネット柵に登るサル